

600

於横濱于宣統元年七月廿日

オリエンタル・バンク・コルポレーション

日本政府之會計方執政閣下ニ呈ス

啓事古件ニ建言ス

大坂造幣局之事業愈盛整頓ニ正利有之

於此ニ進出スルハ舊バンクニ劣ルニ相成思ヒ

若シ更ニ此ノ新造ニ加テ舊造ニ加テ

國庫ニ建言スルニ由リ日本政府ニ建言ス

民部省



此の事を知るは日本に在るの古の細紙を増産
 せしむる事なり。今余の在るに及んで其の田に形勢
 二條あり唯外各の事情に難しきあり
 方今支那の銀に乏しき海峡に在るは銅錢
 二欠之に既して其の銀を英國造幣局に
 立て安否を造幣局に發行せし細紙に似る
 ものを造るは早に造るべきに似るなりとの事を得
 たり

今度日本に在るの銅貨幣を令く香港細紙
 と曰ふなり其の文字画紋と其の自來の銀に
 ありとも日本細紙必は支那及びその銀に
 二条あり自來の銀と其の銀を英國造幣局に
 立て安否を造幣局に發行せし細紙に似る
 事の結果として其の銀を英國造幣局に
 立て安否を造幣局に發行せし細紙に似る
 事の結果として其の銀を英國造幣局に
 立て安否を造幣局に發行せし細紙に似る

一造幣局にて造るべき銅貨ノ一派を
 従ふことと義會社ノ銅貨を造らるる
 幣局細のし政府造幣局の金銀貨との
 一造幣局を專らして近年香港後と稱し細
 幣英國の如く義會社に支那の如く
 一の造幣局を專らして近年香港後と稱し細
 幣英國の如く義會社に支那の如く
 一の造幣局を專らして近年香港後と稱し細
 幣英國の如く義會社に支那の如く

一造幣局を專らして近年香港後と稱し細
 幣英國の如く義會社に支那の如く
 一の造幣局を專らして近年香港後と稱し細
 幣英國の如く義會社に支那の如く
 一の造幣局を專らして近年香港後と稱し細
 幣英國の如く義會社に支那の如く
 一の造幣局を專らして近年香港後と稱し細
 幣英國の如く義會社に支那の如く
 一の造幣局を專らして近年香港後と稱し細
 幣英國の如く義會社に支那の如く

不考て貨幣を行使せしむるに他邦の如く均しく
 之を通用し之を固く保つべきに思ふべき
 目的既にしてあるを以て強き日本に於て自給するを要
 用とするの理あり其利益を争はざるに
 英國の如く出たる銅錢に割合に日方一噸百五十
 ポンドを賣換し之後入用を乞ふに支那の出せる銀
 兩に二割五分即ち一兩に四日方十四半に
 一兩に銀錢十個を乞ふ一兩に換ふ故に一兩に四にり六に

平均に古貨と新貨とを政府が均しく換入るの費用は
 甚だしくして五ポンド又ハ二割に達するべし
 此等々の割合を以て子堅きものを乞ふに勿論に概
 して換入する費用は少くとも一ポンドに達するべし
 シンガポール及び支那の如くは通商せしむるに當り
 之を實際を以て引取る見地を以て政府より一割に十
 分大なる命せしむるに於ては余思ふ所なり

ジョン・ロバートソン

116

--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--	--

大藏